B-6 「よこはま水辺レポートで見つける、身近な川の魅力」

～見て、感じて、さわって「水辺へGo！」～

講義担当：公益財団法人　水・地域イノベーション財団、横浜市みどり環境局水・土壌環境課

講座対象者	□小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 □放課後施設利用児童　■中学生　■高校生　■大学生　■地域一般		
授業活用例	学校授業（総合学習等）、地域活動、河川調査、クラブ活動		
関連のあるSDGsのゴール	4, 6, 9, 11, 15, 17	オンライン授業	■可　□不可
対応可能曜日	■平日　□休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	9時～17時		
年間実施上限数	2回程度		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（パソコン、プロジェクタが利用できる教室、会議室等） □ワークショップ（　　） ■自然体験（身近な川での水環境調査と結果の話し合い、解説）		
講座所要時間	60 分程度（ご相談して調整します）		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクタの準備をお願いします。		

講座内容

1. 本講座の目的・ねらい

水辺のすこやかさ指標※を使って川の環境を調べる「よこはま水辺レポート」により、「川の見方」を知り、川への関心を高めます。それがどういう意味を持つのか、分かり易く説明します（SDGs等）。調査結果は「よこはま水辺レポート」の結果の1つとして、横浜市ホームページでシェアしていきます。

※環境省が策定した指標で、川の景観や生きもの、水のきれいさ等の調査の視点を体系化した指標です。

2. 本講座の内容（①②③の中でどの部分を重点とするか予めご相談・調整します）

①「川を知る」講義

５つの見方「自然なすがた」「豊かな生きもの」「水のきれいさ」「快適な水辺」及び「地域とのつながり」から、川の特徴を理解する方法を説明します。説明は、参加者が身近に感じる地元の川を対象とします。

②「川の環境を調べる」調査

調査シートや「水辺へ Go！」アプリを使って川の環境を調べます。安全に気を付け、参加者の皆さんに調査を行って頂きます。

③「川への理解を深める」議論

後日、皆さんの調査結果をレーダーチャート図や集計結果として提示します。調査した皆さんで調査結果を共有し、川に対する意見を出し、話し合います。

参考：「水辺のすこやかさ指標」：http://www.env.go.jp/water/wsi/index.html（環境省HP）
「水辺へ Go！」ホームページ：https://mizuinfra.or.jp/mizube/
「よこはま水辺レポート」：https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/hozentorikumi/mizukankyo/mizubereport.html（横浜市HP）

問合せ先：水・地域イノベーション財団　TEL：090-8893-2851　メールアドレス：simizu y@mizuinfra.or.jp
横浜市みどり環境局水・土壌環境課　TEL：045-671-2489　メールアドレス：mk-mizu@city.yokohama.lg.jp